

## A 多様な人々とのつながりを実現する遠隔教育

### A1 遠隔交流学習

離れた学校の児童生徒同士が交流し、互いの特徴や共通点、相違点などを知り合う。



### A2 遠隔合同授業

他校の教室とつないで、継続的に合同で授業を行うことで、多様な意見にふれたり、コミュニケーション力を培ったりする機会を創出する。



## B 教科等の学びを深める遠隔教育

### B1 ALTとつないだ遠隔学習

他校等にいるALTとつないで、児童生徒がネイティブな発音にふれたり、外国語で会話したりする機会を増やす。



### B2 専門家とつないだ遠隔学習

博物館や大学、企業等の外部人材とつなぎ、専門的な知識にふれ、学習活動の幅を広げる。



### B3 免許外教科担任を支援する遠隔授業

免許外教科担任が指導する学級と、当該教科の免許状を有する教員やその学級をつなぎ、より専門的な指導を行う。



### B4 教科・科目を充実するための遠隔授業

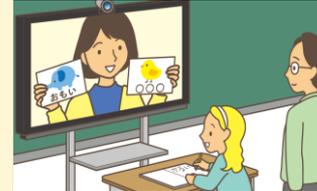
高等学校段階において、学外にいる教員とつなぐことで、校内に該当免許を有する教員がいなくても、多様な教科・科目を履修できるようにする。



## C 個々の児童生徒の状況に応じた遠隔教育

### C1 日本語指導が必要な児童生徒を支援する遠隔教育

外国にルーツをもつ児童生徒等と日本語指導教室等をつなぎ、日本語指導の時間をより多く確保する。



### C2 児童生徒の個々の理解状況に応じて支援する遠隔教育

個々の児童生徒と学習支援員等を個別につなぎ、児童生徒の理解状況に応じて、学習のサポートを行う。



### C3 不登校の児童生徒を支援する遠隔教育

自宅や適応指導教室等と教室をつないで、不登校の児童生徒が学習に参加する機会を増やす。



### C4 病弱の児童生徒を支援する遠隔教育

病室や院内分教室等と教室をつないで、合同で授業を行うことで、孤独感や不安を軽減する。



# 実践事例 多様な人々とのつながりを実現する遠隔教育

## ・遠隔交流学习（沖縄県宮古島市）

総合的な学習の  
時間・小学5年

### 取組概要

○ サシバという渡り鳥について、飛来地の小学校同士をつなぎ、自分たちの地域における渡り鳥の活動の様子を調べまとめたうえで、相手校に対してそれを発表し、地域による様子の違いなどを伝え合う。

### 連携体制、機器配置

宮古島市立伊良部島小学校 37人

栃木県市貝町立小貝小学校 20人



### 遠隔教育システムを活用した活動内容



・遠隔教育システムを活用し、渡り鳥についてまとめた資料をもとに、相手校に発表する。



・画面共有機能を使って、発表資料を共有し、渡り鳥に関するクイズを出題する。

# 実践事例 教科等の学びを深める遠隔教育

## ・ALTとつないだ遠隔学習（静岡県静岡市）

外国語  
中学 1年

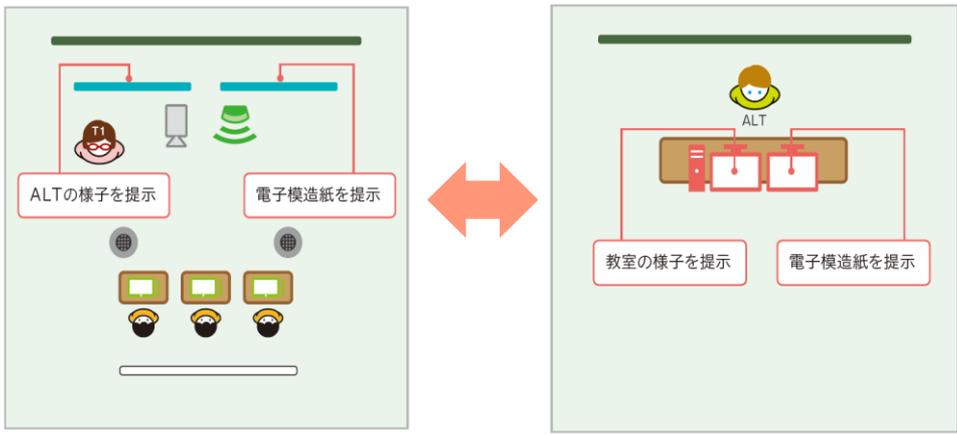
### 取組概要

- 普段は直接会えないALTとつながることで、自分の思いを直接ALTに伝えられるという活動の必然性を作っている。
- 普段の授業から、電子模造紙を使って添削やコメントをもらうなど、ALTとのリアルタイムでないコミュニケーションを継続的に行うことで、ALTとつないで行う遠隔授業に向けての生徒の意欲を高めている。

### 連携体制、機器配置、活動内容

静岡市立梅ヶ島小中学校  
3人

静岡市立清水第七中学校  
ALT 1人

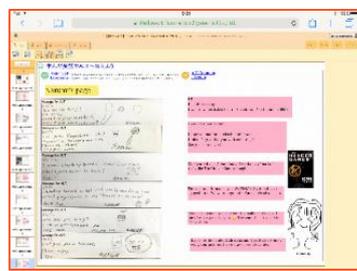


### 遠隔教育システムを活用した活動内容



・英語で発表や紹介を行ったり、ALTからのコメントを聞いたりする。

### ※リアルタイムでないコミュニケーション



・電子模造紙を使って、生徒が英文を書き込み、ALTが後から添削やコメントを追加する。

# 実践事例 個々の児童生徒の状況に応じた遠隔教育

中学3年

・不登校の児童生徒を支援する遠隔教育（宮城県仙台市）

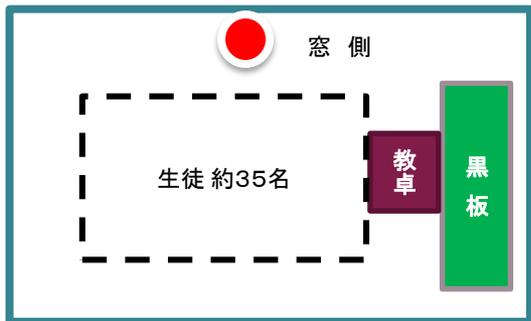
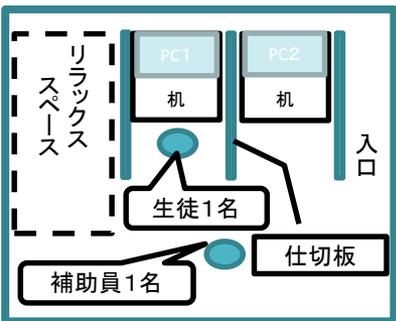
## 取組概要

○適応指導教室に訪れた不登校児童生徒が在籍校とつなぎ、授業に参加した。

## 連携体制、機器配置

仙台市適応指導センター（児遊の杜） 1人

館中学校 35人



## 遠隔教育システムを活用した活動内容



・教室にタブレット端末を備え付けた三脚を設置。適応指導教室に授業の様子を配信する。適応指導教室側の映像や音声は切断している。



・授業後に学級担任とつないで、遠隔面談を実施。

適応指導教室内のPCから在籍校に接続